

未来のスマートコミュニティーヶ岡

2030年よりもっと未来のわたしたちのまち

未来のヶ岡小学校

- ノートは使わずに全てタブレットで授業を受ける。宿題も。
- 紙を使わないことで、ごみの排出量が減りごみを燃やす時のCO2削減につながる。(ペーパーレス化)
- 発電廊下を設置する。
- 発電廊下とは、人が歩くとその圧力で生じるエネルギーを利用して発電するというもので、発電した電気はそのまま学校で使用する。
- 新型空気清浄機を発明し、各教室に設置する。「太陽光エネルギー+CO2+水」から「でん粉」と「酸素」を生み出す仕組みを利用する。



オリーブの森



- オリーブを「ヶ岡の木」に指定する。
- 今ある山の木をオリーブの木に植え替える。
- オリーブの木は他の木と比べて、CO2の吸収率が高いと言われている。
- オリーブの森だけでなく、各家庭や公共施設にも必ず一本は植えてもらうようにする。

未来の商業施設



- 全ての商業施設にソーラーパネルを設置する。
- 人が集まる場所なので、そこに電気自動車充電ステーションを設置する。その電気もソーラーパネルで発電した電気を使う。地域の方が使えるシェアカーも置く。
- 人が呼吸により排出する二酸化炭素を酸素に変換できる装置を発明し、飲食店に設置する。合わせて、各店舗にオリーブの木や多肉植物を植えるようにする。

未来の乗り物・移動手段

- 電気自動車や水素自動車の購入を進める。エネルギーとなる電気は各家庭のソーラーパネルで発電したものを使用する。
- カーシェアリングを積極的に使用する。シェアする車は電気自動車や水素自動車、ソーラーパネルカーにする。まちを走るタクシーやバスも電気自動車や水素自動車、ソーラーパネルカーにする。
- 車が通ると二酸化炭素を吸収するような装置を発明し、交通量が多い道路に設置する。



未来の住宅・アパート

- ソーラーパネルを全ての家・アパートに設置する。合わせて全ての建物をZEH・ZEB使用にする。
- ZEH・ZEBとは家庭用住宅やアパート(ビル)で消費するエネルギーの収支を0以下にすることを旨とした地球環境にやさしい住宅のことである。断熱性を高めることや、再生可能エネルギーを導入していること等が基準として設けられている。



今からできる具体的なこと

緑を育て、緑を増やす



ごみの排出量を減らす

- ごみの分別をする。
- 3R(リサイクル・リユース・リデュース)を推進する。



FSCマークの製品を選ぶ

- FSC商品を選ぶことで、二酸化炭素を吸収してくれる森林保全につながる。



公共交通機関を利用する



食品ロスをなくす

- 「手前どり」を進める。
- 地産地消を進める。
- 好き嫌いをなくす。



電気使用量の節約

- こまめにスイッチをきる。
- 洗濯物や食洗器は夜中に使用する。

